

人民元改革:「日本買い」加速も 進む人民元高、観光業は歓迎

中国の人民元改革で人民元相場は中長期的に円安・人民元高に進むと見られ、日本企業にはプラス、マイナス両面の影響がありそうだ。人民元の価値向上で中国の購買力が高まるため、中国への輸出拡大や中国からの観光客増などを期待できる一方、海外の鉱物資源獲得競争で中国が有利になるため、日本の資源調達に障害になりかねない。中国に生産拠点を持つ日本企業は輸出競争力が低くなり、将来的に拠点移設などの対応を迫られる可能性もある。

◆購買力押し上げ

日本政府が7月に中国人の個人観光客向けのビザの発給条件を緩和することもあり、人民元高が進めば国内に中国人を迎える旅行業界にとっては追い風になる。JTBは「増え続ける中国人の訪日旅行をさらに後押しする」と期待する。

全国百貨店の5月売上高は27カ月連続で前年割れだが、外国人客の売上高は前年同月比5割増で、そのほとんどが中国人観光客だという。百貨店業界も「中国人観光客が買い物しやすい環境が整う」(飯岡瀬一・日本百貨店協会専務理事)と歓迎ムードだ。

人民元高は日本から中国への輸出増にも貢献しそうだ。中国向け完成車の一部を日本から中国に輸出している三菱自動車の益子修社長は「価格低下で顧客の選択肢が広がる」と販売拡大への期待を示している。

◆資源調達に影響

一方で、M&A(企業の合併・買収)助言会社「カチタス」の平井宏治社長が「環境としては日本企業を買いやすくなる」と語るように、中国資本による日本企業の買収が加速する可能性がある。日本企業が救済される側面もあるが、技術流出を懸念する見方もある。また「世界的な資源獲得競争でチャイナマネーの存在感がますます増大する可能性がある」(大手商社)と中国勢との権益獲得競争などへの影響を心配する声もある。

◆生産コスト増

自動車メーカーのようにほぼ中国市場向けの現地生産なら為替の影響はないが、中国を日本を含む海外への輸出拠点と位置付けている企業にとっては競争力低下につながる。

ヤマハは、中国から欧米に鍵盤楽器などを輸出しており、人民元がドルに対し10%上昇すると営業利益が年8億円目減りすると試算。「今後の状況を慎重に注視したい」(広報)としている。

100円ショップ最大手の「ダイソー」を運営する大創産業(東広島市)は、100円商品に占める中国製品の比率が約3割で、元高となれば輸入価格が上昇する。「人件費、原材料費上昇の影響も大きく、コスト増は営業努力で吸収するしかない」という。製品の85%を中国で製造するユニクロを展開するファーストリテイリングは人件費上昇やグローバル展開もにらみ、今後全体の3分の1以上を中国以外での生産とする方針だ。【井出晋平、宮崎泰宏】

毎日新聞 2010年6月22日 東京朝刊

検索:

関連語: [日本買](#) [加速](#) [人民元高](#)